

骨肉腫 治療開発マップ

革新がんでサポート
されている試験

作成：2025年 1月
検索：2024年12月

がん種	対象	標準治療	臨床試験（国内）		臨床試験（海外）	
骨肉腫	Stage I	手術*				
	Stage IIA	術前・術後化学療法 (MAPレジメン) +手術*	jRCTs031180126 追跡中・Phase III JCOG0905: 骨肉腫術後 補助化学療法における Ifosfamide 併用の効果に 関するランダム化比較試験 手術+術前後MAP VS 手術+術前後MAP+術後 Ifosfamide 2010.2～2030.8		NCT00134030 追跡中・Phase III Combination Chemotherapy, PEG-Interferon Alfa- 2b, and Surgery in Treating Patients With Osteosarcoma (EURAMOS-1) PEG-Interferon Alfa- 2b 2005.11～2022.9	
	Stage IIB					
	Stage III					
	Stage IV**	術前・術後化学療法 (MAPレジメン) +手術* +転移巣に対する治療			NCT00470223 追跡中・Phase III Combined Chemotherapy With or Without Zoledronic Acid for Patients With Osteosarcoma (OS2006) Zoledronic Acid 2007.3～2026.12	
	再発・ 進行期	化学療法 局所療法 (手術・放射線療法・ IVR治療)	jRCT2080225239 追跡中・Phase III 進行・再発骨肉腫患者を対象と したTAS-115の第III相試験 TAS-115 2020.2～2026.6	jRCT2073210118 登録中・Phase II 進行性原発悪性骨腫瘍を対象としたサバイ ビン反応性増殖制御型アデノウイルス (Surv.m-CRA-1) の反復腫瘍内局所投 与の第II相試験 サバイビン反応性増殖制御型アデノウイル ス (Surv.m-CRA-1) 2021.1～2025.9		

*手術は十分な切除縁を確保した腫瘍広範切除術もしくは患肢切断術が行われる。
**Stage IVもStage II,IIIと同様の戦略で治療開始されることが多いが、転移巣切除の可否や化学療法の効果により症例ごとの治療戦略がとられる。